

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	大腸腫瘍性病変に対する粘膜下層剥離術
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 消化器内視鏡学 北方 秀一
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022年7月
対象者	2008年4月から2022年3月までに、当院消化器内視鏡科で内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）が行われた大腸腫瘍（高度異型腺腫、大腸癌、大腸神経内分泌腫瘍）の方
当該研究の意義・目的	2012年に大腸腫瘍に対し内視鏡的粘膜下層剥離術が保険適応となったが、依然としてリスクの高い治療法です。当院で行われた内視鏡的粘膜下層剥離術の症例を後方視的に解析し、治療の妥当性と偶発症の要因、安全に治療を行うための工夫などについて検討を行うことを目的とします。
方法および研究で利用する試料・情報について	当科で内視鏡的粘膜下層剥離術が行われた大腸腫瘍性病変において、腫瘍のサイズや位置、組織型などの臨床情報、手術時間や使用したデバイスなどの情報、偶発症の有無を収集し、解析を行います。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた臨床データを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 研究の成果は学会等で発表予定ですが、その際もあなたの個人情報個人は個人判別が出来ない様に加工され、外部から特定できない形で公表されます。 研究の為に集められた情報は、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法で破棄されます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 消化器内視鏡学 北方 秀一 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（8415）

作成日： 2022年5月25日